

2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月17日作成)

小委員会名	減災集落計画小委員会	主 査 名：菊池 義浩 就任年月：2022年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：神吉紀世子
設 置 期 間	2022年4月 ～ 2026年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・被災集落・地域における被害実態・復興過程を記録検証し、居住地の復興計画、集落施設の再建、生業や住宅を含む社会的再建のあり方を議論し、実現に向けた復興計画論の構築を目指す。 ・世代を超えて継承されてきた防災・減災の技法を明らかにする。 初年度：集落の復興事例や、集落が有するレジリエンスの仕組みに関する調査研究を行う。書籍等での成果発信。 2年度：集落の復興事例等に関する調査研究を行う。研究集会の企画実施。 3年度：集落の復興事例等に関する調査研究を行う。公開研究会の企画実施。 4年度：補足的な調査を行い、成果を取りまとめる。書籍等での成果発信。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：菊池義浩(仙台高等専門学校) 幹事：本塚智貴(明石工業高等専門学校)、田中暁子(後藤・安田記念東京都市研究所) 委員：荒木裕子(京都府立大学)、浅井秀子(鳥取大学)、岡田知子(西日本工業大学)、後藤隆太郎(佐賀大学)、佐藤栄治(宇都宮大学)、澤田雅浩(兵庫県立大学大学院)、下田元毅(大手前大学)、鈴木孝男(新潟食料農業大学)、田澤紘子(宮城大学)、友淵貴之(宮城大学)、林 和典(大阪大学大学院)、山崎寿一(神戸大学)	
設置WG (WG名：目的)		
2022年度予算	110,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	6回 小委員会(5/30、9/9、3/14) 拡大幹事会(4/26、8/10、12/12)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 研究会「近代期における震災復興とまちなみの変遷 —北但大震災からの復興と現在」 参加者数 24名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 調査研究の遂行と情報共有：北但大震災(1925)の復興をテーマに現地での公開研究会を開催し、長期的な視野からの復興計画について議論を深めることができた。また、小委員会の会議にあわせて研究交流会を実施しており、情報共有や研究テーマの展開を図っている。 2. 研究成果の発信：前体制から引き続き、小委員会活動の蓄積を社会に還元するため、「災害としなやかに付き合う知恵」をテーマとした連載(雑誌：ニューライフ)を行っている。 2022年7月号「避難所となった学校」(佐藤)、2022年8月号「地域主体の宿泊施設を利用した避難」(本塚)、2022年9月号「繰り返す災害へ備えと復興プロセスのあり方」(澤田)、2023年1月号「木のソナエー和歌山県の木造仮設住宅」(林)、2023年3月号(予定)「あこう絵マップコンクール」(江端) コロナ禍による影響を踏まえつつではあるが、次年度以降も公開研究会の開催や合同での集落調査を企画するなど、小委員会活動の推進を図りたい。
委員会活動の問題点 ・課題	1. コロナ禍でのフィールド調査の制約 2. 研究予算の確保